

宿泊税等検討委員会資料

～持続可能な観光振興の推進に向けて～

本検討委員会の趣旨

- 京丹後市における観光の状況や実態を踏まえ、京丹後市に適した観光財源について検討を行う。
- 京丹後市における観光財源の活用の方策について考える。

※ 本検討委員会では、合意形成を図る目的ではなく、観光財源のあり方や方策、またその使途について、関係者及び有識者から意見を聴取し、施策へ反映させることを主たる目的とします。

・観光財源のあり方検討
（新たな財源の必要性、
導入の効果と影響、課題など）
・観光財源の使途について
（どのような使途が望まれるか）

報告書として提出

・市として、検討結果を踏まえ
財源確保に向けた検討、調整、
手続きを本格化する

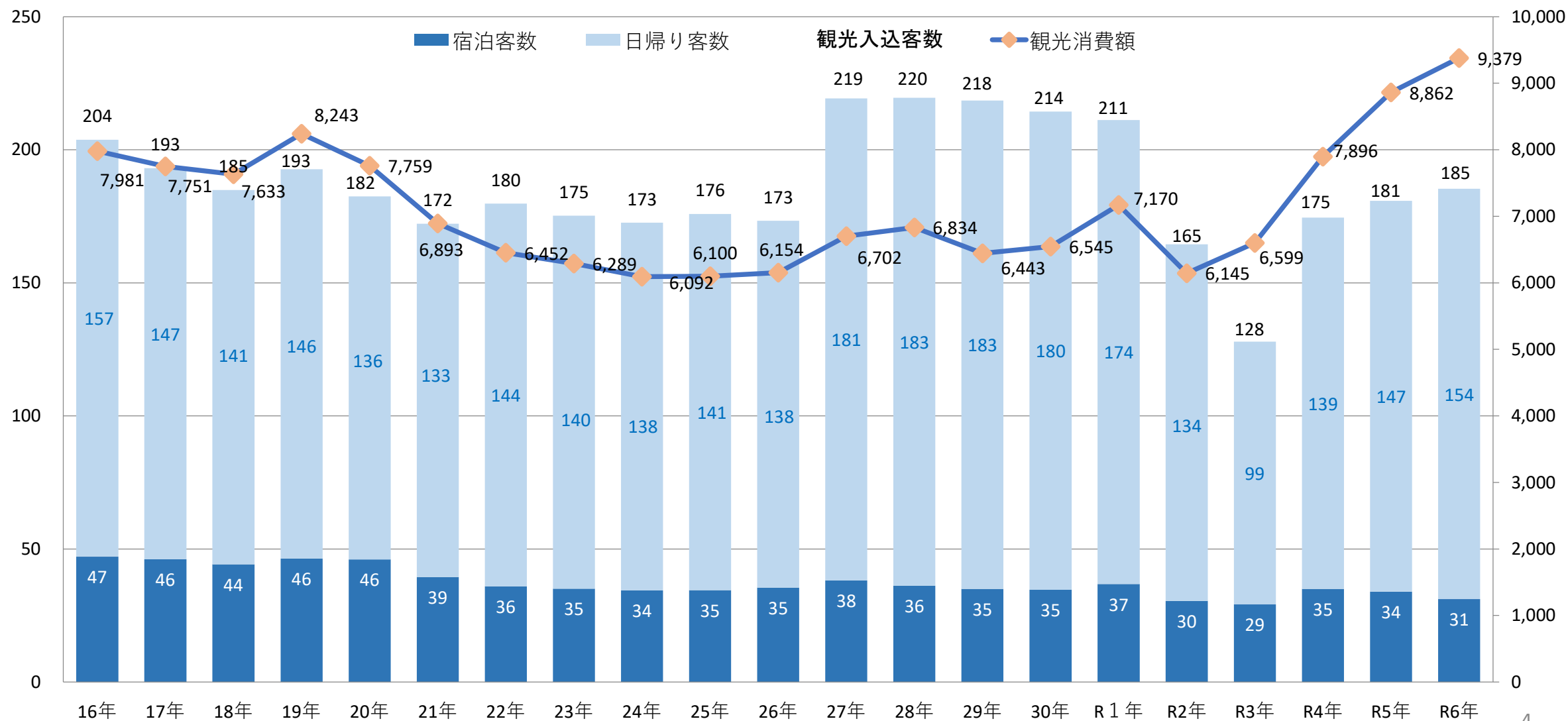
本検討委員会のスケジュール

- ・ 本検討委員会のスケジュールとして、下記の内容で実施を予定

会議	時期	議事	委員会で決めること
第1回委員会	R8.8	・検討委員会の進め方 ・観光財源の考え方 ・宿泊事業者向けアンケートについて	・観光財源の必要性の有無 ・優先的に検討する観光財源 ・アンケート調査の内容
アンケート調査	R8.9	(宿泊税に関するアンケートを送付)	3週間程度の回答期間
第2回委員会	R8.9	・前回委員会の振り返り ・アンケート内容の確認 ・観光財源の設計(どうあるべきか)	・前回の議論、アンケート結果を踏まえ、 観光財源の設計の方向性
第3回委員会 (書面開催予定)	R8.10	・報告書(案)の骨子の提示	・報告書に盛り込むべき意見等
第4回委員会	R8.11	・報告書の確認	・報告書に反映すべき内容の確認、 委員会の合意

京丹後市の観光の状況

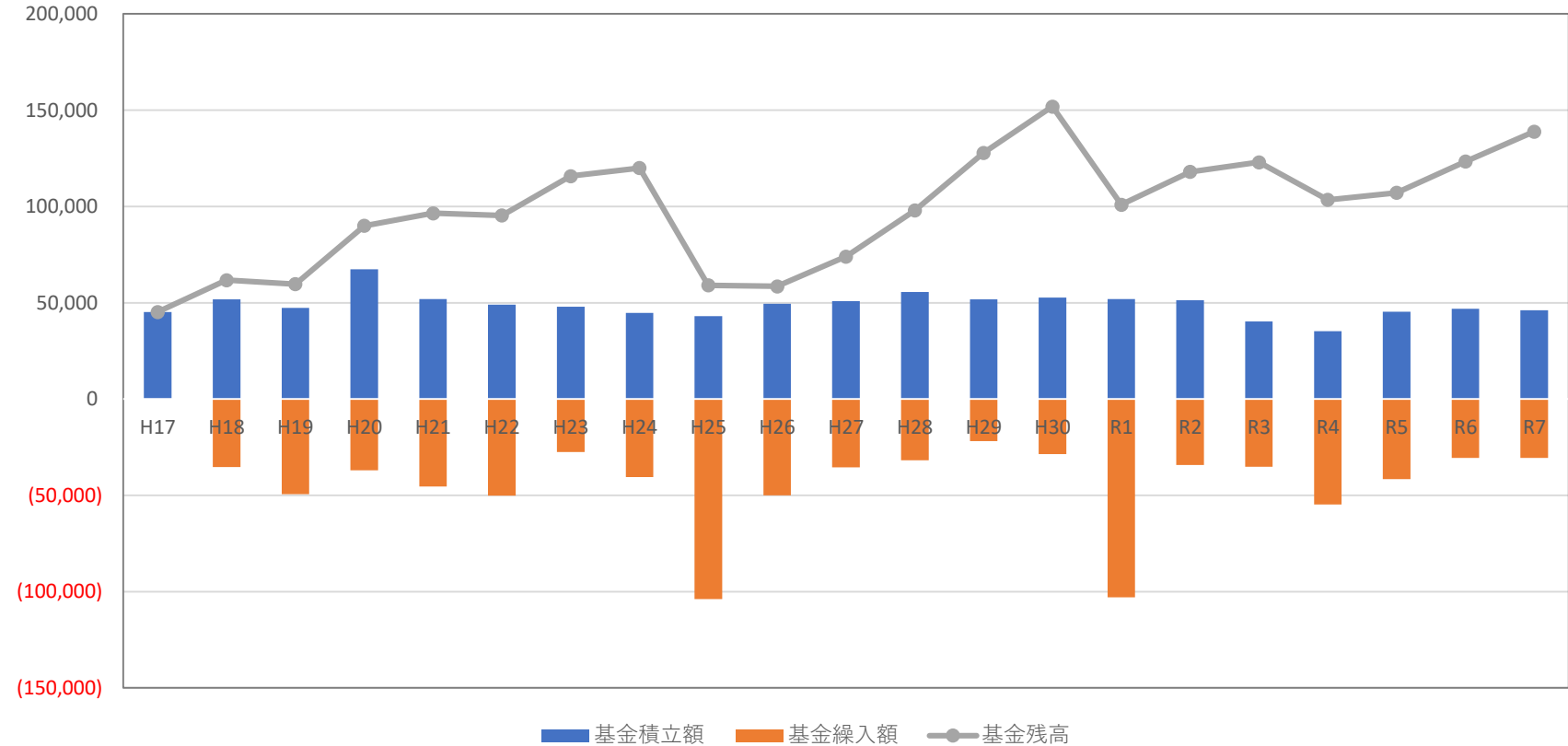
- 本市の観光入込客数、宿泊者数、観光消費額の推移



京丹後市の観光の状況

・本市の入湯税の状況

観光インフラ整備等促進実行調整費基金の積立、繰入、基金残高



- ・基金積立は、前年の入湯税の収入額
- ・概ね5,000万円/年程度で推移
- ・基金繰入額とは、基金の取崩し額
- ・補助金交付額を一般財源に繰り入れる
- ・H28までは「観光の魅力づくり推進事業補助金」、H29以降は「観光インフラ整備等促進事業補助金」

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05	R06	R07
基金積立額	45,200	51,829	47,323	67,386	51,931	49,014	47,936	44,679	43,020	49,480	50,901	55,633	51,749	52,613	51,903	51,340	40,215	35,204	45,293	46,875	46,131
基金繰入額	0	35,243	49,427	37,071	45,459	50,122	27,535	40,498	103,905	50,000	35,412	31,737	21,837	28,555	102,894	34,255	35,204	54,754	41,620	30,634	30,643
基金残高	45,200	61,786	59,682	89,997	96,469	95,361	115,762	119,943	59,058	58,538	74,027	97,923	127,835	151,893	100,902	117,987	122,998	103,448	107,121	123,362	138,850

京丹後市の観光の状況

・観光インフラ整備等促進事業補助金の活用状況

【単位:千円】

	温泉源掘削、維持管理及び配湯施設整備事業		砂浜清掃用機械購入等事業		温泉施設等整備事業		修景等景観保全整備事業		誘客サイン整備等事業		その他事業		合計	
H29	16,974	9件	4,500	1件	0	0件	0	0件	363	2件	0	0件	21,837	12件
H30	14,475	9件	541	1件	11,378	4件	0	0件	316	1件	1,845	2件	28,555	17件
R1	21,892	10件	11,812	3件	20,000	4件	0	0件	53	1件	49,137	3件	102,894	21件
R2	13,570	9件	1,651	3件	15,000	2件	2,809	3件	1,225	1件	51,966	3件	86,221	21件
R3	21,783	13件	229	1件	10,000	1件	0	0件	119	1件	3,073	2件	35,204	18件
R4	22,946	11件	21,690	3件	0	1件	0	0件	0	0件	10,118	3件	54,754	18件
R5	17,620	11件	8,702	4件	0	0件	0	0件	2,507	2件	12,791	3件	41,620	20件
R6	4,753	4件	13,949	3件	0	0件	0	0件	3,206	2件	3,523	1件	25,431	10件
R7	14,886	9件	9,426	4件	5,000	2件	0	0件	0	0件	0	0件	29,312	15件
計	148,899	85件	72,500	23件	61,378	14件	2,809	3件	7,789	10件	132,453	17件	425,828	152件
割合	35.0%		17.0%		14.4%		0.7%		1.8%		31.1%			

観光インフラ整備等促進事業補助金に規定された補助対象事業別の補助額及び件数

観光財源の種類

・本市で検討できる観光財源の例

- ・財政規模: 観光振興を支え得るか
- ・安定性・継続性: 一定の金額を継続的に徴収可能か
- ・実現性: 実際に徴収が可能か

- ・公平性: フリーライダーが発生しないか
- ・応益性: 受益者と負担の関係性の観点から比較検討を行った

区分	種類(例)	概要	財政規模	安定性・継続性	実現性	公平性	応益性
法定税	入湯税(日帰り入浴)	鉱泉浴場における入湯に対し入湯客に課すもの	○ 税率次第で、規模の確保が可能	○ 安定的・継続的な確保が可能	△ 入湯料に対する金額設定	△ 入湯者のみ負担	△ 法律に基づく利用目的に沿った利用が必要 負担者と受益者の関係性が直結しないものもある
	入湯税(超過課税)				○ 既に特別徴収の枠組み確立済	△ 温泉宿利用者のみ負担	
法定外税	宿泊税	宿泊施設に宿泊する場合に課すもの	○ 税率次第で、規模の確保が可能	○ 安定的・継続的な確保が可能	○ 特別徴収の枠組み確立可能	△ 宿泊者のみ負担	○ 制度設計の中で検討が可能
	入域税等	特定の区域への入域行為に対し課すもの	△ 対象、単価の設定によるが、本市では、対象設定の検討が必要	△ 対象設定により安定的・継続的な確保が可能	× 捕捉が非現実的	○ 日帰り客、宿泊客を網羅	○ 制度設計の中で検討が可能
協力金	登山協力金	特定の行為や区域への入域に際し、任意で支出を求めるもの	× 一定規模の対象者の設定が困難	× 協力者の善意に基づくため、継続的・安定的な確保は困難	× 徴収や捕捉が困難	△ 協力者の善意に基づく	○ 協力者の善意に基づくため、受益者が必ずしも負担する必要がない
	海水浴協力金		○ 金額次第で、規模の確保が可能		× 駐車料金(=清掃協力金)との重複		
寄附金	ふるさと納税	無償で金銭の贈与を受けるもの	△ 寄附自体は集まるが、観光財源として限定できない	× 寄附者の善意に基づくため、継続的・安定的な確保は困難	△ ふるさと納税制度は存在するが、制度の永続性は不明	△ 協力者の善意に基づく	○ 協力者の善意に基づくため、受益者が必ずしも負担する必要がない

観光財源の種類

- 観光財源選定の観点

市の観光産業を中長期的な視点で支える、戦略的な投資を行うことを想定すると、観光財源を選定する上では、以下の観点が求められる。

- ✓ 観光振興施策に計画的に取り組むためには、一定規模以上の財源確保が必要である
- ✓ 中長期的に安定的・継続的な収入が見込めることが求められる
- ✓ 徴収システムを構築することが現実的に可能である
- ✓ 京丹後市全域に財源を活用するためには、公平な徴収方法が求められる
- ✓ 多様な観光施策に財源を用いるためには、受益と負担の対応関係が過度に限定される財源ではないことが求められる
- ✓ 徴収により、来訪者の入込に影響が出ないことが求められる

観光財源の規模感

○財源の規模感

- ・宿泊税を例に検討
- ・定額100円(～1%)、200円(1%～2%程度)、300円(2%～)を想定
- ・宿泊客数30万人と仮定

単価	100円／人	200円／人	300円／人
財源の規模 (単価×宿泊者数)	3,000万円／年	6,000万円／年	9,000万円／年

※ 単純計算のため、制度設計などで規模感の変更がある

財源の規模感により、使途の規模感も変わる。

観光財源の使途

○観光立市推進会議での議論

- ・ 交通インフラ整備(二次交通)
- ・ 施設整備(例:公衆トイレ、体育館等スポーツ施設)
- ・ 観光資源の保全・活用(例:経ヶ岬灯台の整備、古墳整備など)
- ・ コンテンツ作成(体験型プログラム(味噌づくり等))
- ・ プロモーション(戦略的PR)

○観光財源の使途の例

使途の例	具体例
施設整備	公衆トイレの整備、エアコン付き海の家
観光コンテンツ整備	海上アスレチック、ナイトコンテンツ
観光プロモーション	SNS運用、フォトスポット整備
民間事業の促進	民間の取組に対する補助制度創設

どのような活用方法が望まれるか。
入湯税との関係性をどうするか。

宿泊税の使途の事例

○導入済みの自治体の宿泊税の活用事例

【東京都】

分野	充当事業例
観光と生活の調和に向けた取組	■ TOKYOクリーンアップムーブメント ■ 訪都旅行者への「ごみの持ち帰り」啓発事業 ■ 地域の生活と調和した観光推進事業 ■ 地域と連携した街の清掃美化推進事業 ■ 住宅宿泊事業ワンストップ相談窓口の運営
受入環境の充実	■ 観光関連事業者デジタルシフト応援事業 ■ 観光関連事業者による旅行者受入対応力強化支援事業 ■ 宿泊事業者向け省力化推進事業 ■ 多摩地域における宿泊施設の送迎車バリアフリー化支援事業
魅力を高める観光資源の開発	■ 多摩・島しょの新たな観光の魅力創出支援事業 ■ 東京の多様性を活かした観光まちづくり推進支援事業
人材の育成・活用	■ 観光ボランティアの活用 ■ 東京の観光への理解促進事業

【大阪府】

分野	充当事業例
観光客受入れのための基盤整備・持続可能な観光の促進	■ 多言語化の強化 ■ 観光案内機能の充実 ■ 宿泊施設の整備 ■ 情報通信に係る環境整備 ■ 観光バス等の駐車場整備 ■ オーバーツーリズムの抑止・抑制
交通アクセス等の容易化・円滑化	■ 公共交通機関と連携した旅行者のシームレスな移動の促進 ■ 観光スポットを巡るバスの運行
文化・生活習慣に配慮した対応	■ ムスリム旅行者をはじめとした対応促進 ■ 文化・生活習慣の違いの観光客・受入側の相互理解の促進
魅力あふれる観光資源づくり	■ 既存の魅力視点の整備・活用 ■ 国内外から集客できる魅力づくり ■ 民間による観光集客施設の新設・拡大
効果的な誘客促進	■ 観光マーケティング・リサーチの強化 ■ 積極的な魅力発信 ■ 国内外から人を呼び込むためのプロモーション ■ MICE誘致の推進

宿泊税の使途の事例

○導入済みの自治体の宿泊税の活用事例

【京都市】

分野	充当事業例
観光を通じた京都の魅力の継承・発展	■ 魅力の向上、情報発信の強化 ■ 修学旅行誘致の強化 ■ MICE誘致の強化 ■ 観光客向け案内整備
文化の力を活かした価値創造	■ 文化財の保全・継承に向けた取組 ■ 伝統文化の担い手育成・魅力発信 ■ 文化振興による多様で奥深い魅力創出
品格のある景観創造	■ 京町屋の保全及び継承 ■ 歴史的景観・自然景観の保全
観光過大対策の着実な実施	■ 安心安全な受入環境の整備 ■ 移動利便性の向上・観光地等交通対策 ■ 観光に対する市民の共感醸成・観光モラルの普及促進
市民・観光客双方音利便性の向上・安心安全につながる都市基盤整備	■ 災害時における市民・観光客等の安全対策 ■ 交通施設等社会インフラの機能強化 ■ 公共土木施設の維持管理

【金沢市】

分野	充当事業例
まちの個性に磨きをかける歴史・伝統・文化の振興	■ 文化スポーツ施設利用料金あり方検討調査費 ■ 伝統的建造物群保存地域等道路集計整備 ■ 金沢茶道合宿誘致モデル事業費 ■ アニメ連携文化施設活性化 ■ 金沢の庭園文化発信
観光客の受入れ環境の拡充	■ 中心商店街ナイトタイムエコノミー推奨モデル ■ 分散型観光の推進に向けた観光コンテンツ造成 ■ 金沢日傘プロジェクトモデル事業
市民生活と調和した持続可能な観光の振興	■ 金沢まちなか芸術祭開催準備 ■ 市民と旅行者の相互理解促進 ■ まちなら観光バス乗降車社会実験費 ■ 金沢MaaS推進 ■ 街中カラス対策費 ■ 金沢21世紀美術館まちなか賑わい創出
能登の魅力発信移管することで能登地域を含めた広域観光の推進	■ 金沢百万石まつり開催日 ■ 能登応援・震災復興キャンペーン ■ 能登応援連携事業費

宿泊税の使途の事例

○導入済みの自治体の宿泊税の活用事例

【倶知安町】

分野	充当事業例
リゾート地としての質の向上	■ ニセコ・羊蹄山の環境保全 ■ 安心・安全なリゾートの形成
リゾートタウンとしての魅力の向上	■ 観光インフラの整備 ■ 新幹線を意識したまちづくり ■ 持続可能な観光地づくり
宿泊税の啓発徴収に係る経費	■ 宿泊税啓発・徴収各種事務 ■ 宿泊税特別徴収義務者徴収奨励金

【福岡県】

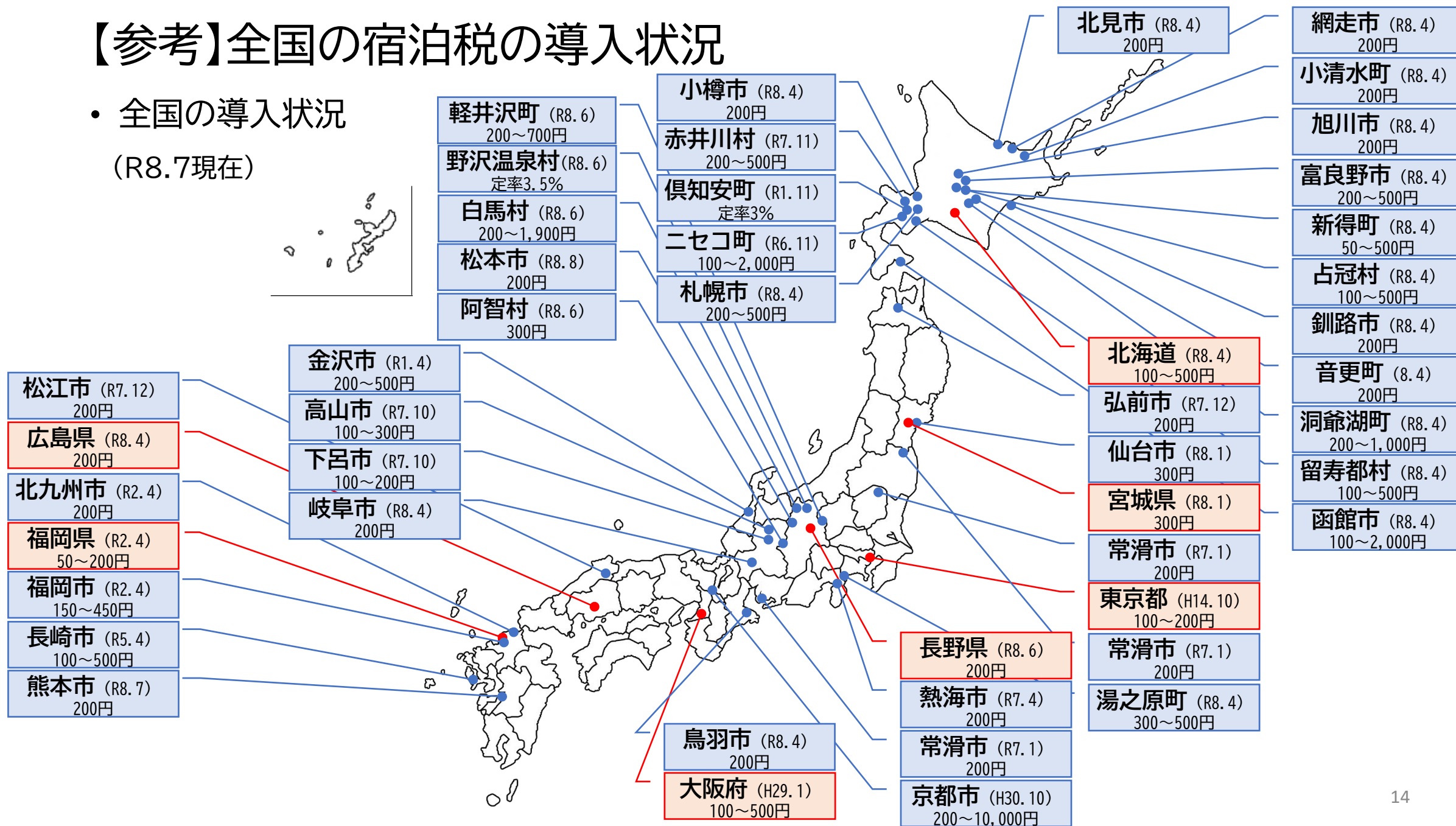
分野	充当事業例
受入環境の充実	■ AIを活用した外国人旅行者の旅行動向分析 ■ ユニバーサルツーリズムの推進 ■ 宿泊業における生産性向上の取組支援
観光資源の魅力向上	■ 新たな観光地づくりの推進 ■ サイクルツーリズムの推進
戦略的なプロモーション	■ 福岡・大分でいすていネーションキャンペーン実施 ■ 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施
観光振興の体制強化	■ 観光業の雇用促進 ■ DMOの取組支援 ■ 食の多様性対応の推進 ■ 宿泊税交付金を活用した市町村の観光振興

【福岡市】

分野	充当事業例
九州のゲートウェイ都市機能強化	■ 広域連携誘客事業 ■ 修学旅行による都市圏周遊の促進 ■ 福岡型ワーケーション推進 ■ 高付加活旅行の推進 ■ 国内を代表するMICE拠点の形成
MICE都市としてのプレゼンス向上	■ MICE誘致強化、支援事業 ■ 植物園におけるイベントの開催 ■ 食のユニバーサル対応推進事業
地域や市民生活と調和した持続可能な観光振興の推進	■ 博多旧市街プロジェクト ■ 海辺を活かした観光振興事業 ■ 離島魅力開発 ■ 夜の文化・エンタメ集客事業 ■ 博物館リニューアル推進事業 ■ 映像を通じた誘客促進事業 ■ 屋台プロモーション事業 ■ 公衆トイレ環境の向上

【参考】全国の宿泊税の導入状況

- 全国の導入状況
(R8.7現在)



【参考】全国の宿泊税の導入状況

・全国の導入状況（R8.7現在）

No	都道府県	市町村	施行日	税額	R6決算額
1	東京都		H14. 10. 1	100円～200円	64.0億円
2	大阪府		H29. 1. 1	100円～500円	33.2億円
3	京都府	京都市	H30. 10. 1	200円～10,000円	61.7億円
4	石川県	金沢市	R01. 4. 1	200円～500円	9.8億円
5	北海道	倶知安町	R1. 11. 1	宿泊料の2%	5.7億円
			R8. 4. 1	宿泊料の3%へ改正	—
6	福岡県		R02. 4. 1	50円～200円	18.8億円
7	福岡県	福岡市	R02. 4. 1	150円～450円	32.0億円
8	福岡県	北九州市	R02. 4. 1	150円	4.1億円
9	長崎県	長崎市	R05. 4. 1	100円～500円	3.6億円
10	北海道	二セコ町	R6. 11. 1	100円～2,000円	1.3億円
11	愛知県	常滑市	R07. 1. 6	200円	0.3億円
12	静岡県	熱海市	R07. 4. 1	200円	—
13	岐阜県	高山市	R7. 10. 1	100円～300円	—
14	岐阜県	下呂市	R7. 10. 1	100円～200円	—
15	北海道	赤井川村	R7. 11. 1	200円～500円	—
16	島根県	松江市	R7. 12. 1	200円	—
17	青森県	弘前市	R7. 12. 1	200円	—
18	宮城県		R8. 1. 13	300円	—
19	宮城県	仙台市	R8. 1. 13	300円	—
20	北海道		R8. 4. 1	100～500円	—
21	広島県		R8. 4. 1	200円	—
22	岐阜県	岐阜市	R8. 4. 1	200円	—

No	都道府県	市町村	施行日	税額	R6決算額
23	神奈川県	湯河原町	R8. 4. 1	300～500円	—
24	三重県	鳥羽市	R8. 4. 1	200円	—
25	北海道	旭川市	R8. 4. 1	200円	—
26	北海道	帯広市	R8. 4. 1	200円	—
27	北海道	函館市	R8. 4. 1	100～2,000円	—
28	北海道	富良野市	R8. 4. 1	200～500円	—
29	北海道	音更町	R8. 4. 1	200円	—
30	北海道	占冠村	R8. 4. 1	100～500円	—
31	北海道	札幌市	R8. 4. 1	200円～500円	—
32	北海道	小樽市	R8. 4. 1	200円	—
33	北海道	釧路市	R8. 4. 1	200円	—
34	北海道	北見市	R8. 4. 1	200円	—
35	北海道	網走市	R8. 4. 1	200円	—
36	北海道	小清水町	R8. 4. 1	200円	—
37	北海道	洞爺湖町	R8. 4. 1	200円～1,000円	—
38	北海道	新得町	R8. 4. 1	50円～500円	—
39	北海道	留寿都村	R8. 4. 1	100円～500円	—
40	長野県		R08. 6	200円	—
41	長野県	松本市	R08. 6	200円	—
42	長野県	軽井沢町	R08. 6	200～700円	—
43	長野県	阿智村	R08. 6	300円	—
44	長野県	白馬村	R08. 6	200～1,900円	—
45	長野県	野沢温泉村	R08. 6	宿泊料の3.5%	—